

政党代表、衆議院議員、参議院議員 各位

全国教職員互助団体協議会

全ての世代が安心して暮らせる持続可能な社会保障制度の確立と 教職員が教育に専念できる環境整備を求める陳情

全ての世代が健康で文化的な生活を営むための社会保障制度の確立は国民共通の願いです。2022年から団塊の世代が後期高齢者となりはじめ、少子高齢化が急速に進展する人口減少社会にあって社会保障費用は今後さらに増加します。社会保障制度の改正は、高齢者を支える若い世代にも大きな影響が及ぶことから、世代間で協調できる持続可能な制度の確立に向けた取り組みが必要であると考えます。

教育現場の最重要課題として教職員の過重労働の解消が求められています。多忙化を解消して教職員でなければできない職務に専念できる環境を整えることは、教育の充実の観点から必要なことです。つきましては、以下の内容について実現いただきますよう要請します。

陳 情 内 容

- 1 病気や高齢など誰にでも起こりうるリスクを支える社会保障制度を維持するためには、世代間にある給付と負担のバランスを調整し、全ての世代で無理なく支えあう制度の確立が求められます。日々の生活に対する不安や悩みが世代や立場によって様々であるなかで、必要とするところで社会保障制度が機能するよう、利用者負担に偏らない安定した財源の確保に取り組んでいただきたい。
- 2 次代を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つことは国民共通の願いです。学校現場では新型コロナウイルス感染防止の対応や教育情報化（GIGAスクール構想）の推進により、学びや働き方が大きく変わろうとしています。多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない学びを実現するには、教職員が教育に専念できる環境の整備が必要です。つきましては、学校現場の実態に配慮した業務の見直しや教職員の定数増等、実効性のある改革を速やかに実現していただきたい。
- 3 複雑多様化する教育の現場にあって教育の水準を維持向上させるには、教職員が心身ともに健康であることが何より必要であり、安定した福利厚生を提供が求められます。教職員互助団体は生涯福祉を基本理念に教職員の健康の保持増進や福祉の向上等、生活を支える重要な役目を担っています。このため、教職員の福利厚生にも目を向けて頂き、教職員互助団体の活動に格段のご理解を賜りたい。
- 4 少子高齢化に伴う人口減少社会にあって、若者や子育て世代が家族を持つことや子どもを産み育てることの喜びや生きがいを実感できる社会を実現するため、子育て家庭の孤立感や負担を軽減し、仕事と子育ての両立を支援する環境整備を推し進めていただきたい。非正規雇用が増加するなか若者世代が将来に夢と希望が持てるよう、きめ細かな就労支援と給付型奨学金や授業料免除の拡充に取り組んでいただきたい。